

「川上小学校の川上踊伝承活動の取組」

1. 学校名	いちき串木野市立川上小学校
2. 学年・人数	4年生以上の希望者（5名）、地域保存会
3. 日時・場所	<p>(1) 練習の日時・場所 令和7年8月 川上小学校校庭</p> <p>(2) 発表の日時・場所 令和7年8月24日（日）長田神社，諏訪神社，葛城神社，川上小学校</p>
4. 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能，伝統行事，伝統工芸品について	<p>(1) 名称 川上踊（かわかみおどり）</p> <p>(2) 由来 今から四百数十年前，五穀豊穰と平和を祈念して創始されたものと伝えられている。 毎年8月26日を踊りの日と定め，踊り続けられてきたが，戦時中から中断していた。その後，昭和39年に復活した。現在では，原則として8月末の日曜日に，川上踊保存会によって毎年行われている。</p> <p>(3) 構成等 踊り子は太鼓14人，鉦4人からなり，踊り子は下と上に別れ踊りの型が異なっている。踊りの種類は，①門係②庭入③庭取④後すざり⑤荒川⑥チャンチャコ⑦ササラ⑧片セキ⑨高飛⑩コ克蘭⑪横飛⑫コ克蘭の出切⑬四十べ⑭サシ鐘⑮楽⑯モッコンコンノヌカシ⑰回節⑱入コシ⑲庭崩⑳ツンテン㉑唄㉒七夕㉓謝礼）の23演目がある。一踊り約40分かかかる。</p>
5. 文化財伝承・活用の取組において地域との連携や工夫した点等	<p>以前は，文化財少年団・PTA及び川上踊保存会が中心となって運営していたが，学校の児童数減少に伴い，現在は，川上コミュニティ協議会が運営をし，小学生は希望者を募って参加をしている。また，学校教育活動としては，高学年の総合的な学習の時間に「ふるさとを伝えよう」のテーマで川上地域の調べ学習を行い，故郷の文化に親しむ学習を行っている。</p>
6. 取組の様子（練習状況，発表の場等）	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">諏訪神社での踊りの奉納                      川上小学校での踊りの披露</p>
7. 感想・意見（参加児童生徒・保護者・保存会・教員等）	<p>【児童】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 川上踊は2回目ですが去年よりは緊張しませんでした。私は初めてしたときより，あまり疲れずに上手に踊れました。来年も川上踊をしたいです。</li> <li>・ 川上踊を初めてやって，みんなに見られながら踊ったので，少し緊張していたけれど，踊っているうちにだんだん楽しくなってきました。</li> <li>・ ぼくは，踊りがより上手になり「練習を頑張ったよかったです。」と思いました。地域の方との交流も増えました。</li> <li>・ 熱中症になり，最後まで踊れなかったのが悔しかったので，次回は最後まで踊れるように体力をつけて踊りたいです。</li> </ul>